

お知らせ

INFORMATION



No.2014-08
2014 年 2 月

病体生理研究所

検査内容の変更について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。
この度、下記項目につきまして、特異性を高めた改良試薬へ変更をさせていただきます。

何卒、ご了解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

【改良試薬への変更について】

- ◆ 麻疹 IgM [12319]
 - ◆ 単純ヘルペス IgM [11941] …検査案内掲載 P.65
- ※ 検査内容の変更はございません。

《変更日》2014 年 3 月 1 日（土）受付分より変更

【改良試薬への変更について】

現行試薬の麻疹は、風疹 IgM 抗体陽性検体などで一部偽陽性反応を示すことが報告されています。

また、単純ヘルペスは感度が高いために抗体保有者の再活性化による微量 IgM 増加を検出する問題がありました。

新試薬ではこれらが改良され、偽陽性および判定保留率を軽減し特異性が向上しました。

《一致率・相関資料》

① 麻疹 IgM

		現行試薬			計
		+	±	-	
新試薬	+	6	0	0	6
	±	2	0	0	2
	-	8	4	7	19
計		16	4	7	27

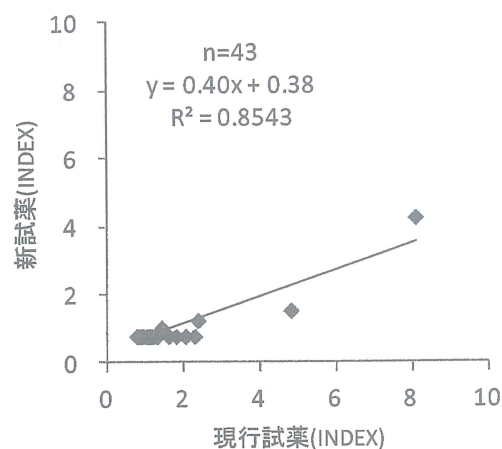
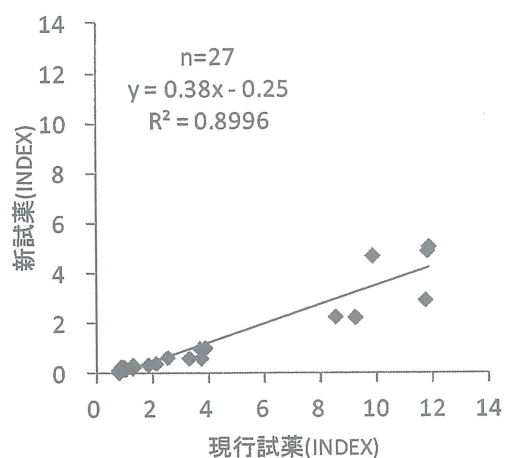
風疹(+～±)検体

		現行試薬			計
		+	±	-	
新試薬	+	0	0	0	0
	±	1	0	0	1
	-	4	2	0	6
計		5	2	0	7

② 単純ヘルペス IgM

		現行試薬			計
		+	±	-	
新試薬	+	3	0	0	3
	±	1	0	0	1
	-	7	17	15	39
計		11	17	15	43

定性比較 (+: 1.21 以上、 ±: 0.80-1.20、 -: 0.80 未満)



以上